

令和7年度「一市町村民会議一運動」活動紹介

岐南町青少年育成町民会議

○親子体験研修7月23日（水）

令和6年度に、「親子が深まる 家族みんなが笑顔になる」をテーマに、子どもの健全な発育を促すために、家庭教育を中心とした子育ての根っこを考えることを目的に講演会を実施しました。今年度は、それを実践する場として、親子のコミュニケーションを図ることや、家庭での防災意識を高めることを目的に、親子体験研修を実施しました。

当日は親子17組43名の参加がありました。名古屋市港防災センターで、地震や伊勢湾台風を疑似体験することで、防災に対する意識を高め、災害対策を考えなおすきっかけとしました。その後、親子で地下鉄に乗って、名古屋港水族館に移動しました。水族館では、イルカショーを見たり、カメの産卵の場面を見たりして、とてもよい学びとなりました。



帰庁後には、親が子どもをほめる、親子が向き合う場面を意図的に設定しました。保護者の振り返りには、「普段仕事をしており、平日になかなか休む機会がなかったのですが、子どもの参加してみたいという気持ちを尊重し、参加してよかった。」「仕事が忙しく、子どもと過ごす時間がなかなかつくっていませんが、時々休みをとって、子どもと向き合う時間をつくっていきたいと思います。」というものがありました。

○町内の三小学校区で青少年育成活動

東校区 「Autumn Festival In Higashi 2025」

東小学校オヤジの会と共催で、地域の多様な人とつながり、関わることを目的に、縦割りドッジボール大会、文化鑑賞会、消防操法訓練の実演を行いました。ドッジボール大会では、エキシビジョンマッチで教職員チーム対オヤジチームの対戦を行い、大いに盛り上がりました。また、今年度から新たに、地元消防団による、操法訓練の実演が行われ、放水の瞬間には歓声が上がりました。普段とは違うオヤジの姿を見て、児童たちは「かっこいい」との声も上がりました。

西校区 「ふれあいお餅つき大会」

田植え、稲刈り、米からお餅をつくる過程を学ぶことや、様々な立場の大人や中学生ボランティアと小学生が一緒にお餅つきをする活動を通して、地域コミュニティ意識を高めることを目的に、「ふれあいお餅つき大会」が実施されました。PTAOBの「オヤジの会」を中心に、前日から準備を進め、盛大に行われました。自分たちでついたお餅を、参加者みんなでほおばりました。子どもたちの体験はもちろん、大人が楽しそうにお餅をつく姿を子どもたちに見せることが、世代循環につながると考えます。

北校区 「けやき祭り」

子どもたちが、様々な体験活動を通して、自身の興味関心を広げ、仲間との関わりを深めることを目的に、地域講師が科学実験や和太鼓、むかし遊び体験教室などの授業を行いました。「けやき祭り」には、毎年、北小学校を卒業した岐南中学校の生徒がボランティアとして訪れます。中学生は、「私たちもたくさんお世話になったから、恩返しをしたい。」とこの活動を楽しみにしており、やさしく小学生に接していました。JAぎふと行った花の苗うえ活動では、JA若手職員が内容を説明し、児童、保護者が一緒に活動を行いました。学校、家庭、地元企業の三者がうまく噛み合う活動でした。

町民会議の立場では、様々なイベントを行い、親子でふれあう場を設定しました。これをきっかけに、家庭でも、親子の絆、地域の絆が深まっていくことを期待します。